

# 個人消費拡大こそ不況脱出の道

## 臨時国会の争点

# 減税、雇用、福祉拡充を

七月参院選で、保守単独政権を死守した福田政権は、他方での社会党の分裂に自信を得たか、露骨な収奪、反動化攻撃を強めている。しかし、弱く犬ほどよくほえる「もて」で、こうした福田の足もとを、むしろ一層ぐらつきが激しくなっている。欧米からは、日本の輸出に対する報復措置がかけられるし、約束した経済成長を果すどころか、構造不況、失業問題が深刻な社会問題に至っている。そして国会では伯仲状況が一層深化しているのだ。有利な条件を生かし、開始された臨時国会を焦点にした、広範な闘いがまさに求められている。

## 国鉄、健保、学費値上げ策動粉碎

九月二十九日、第八二回臨時国会が召集された。今国会では、五年度補正予算案をはじめ、前国会で継続審議となっている健康保険法改正案、国鉄運賃法改正案、日「韓」大陸棚協定特別措置法(国内法)などが上呈されている。十月三日

九月二十九日、第八二回臨時国会が召集された。今国会では、五年度補正予算案をはじめ、前国会で継続審議となっている健康保険法改正案、国鉄運賃法改正案、日「韓」大陸棚協定特別措置法(国内法)などが上呈されている。十月三日

## 露骨な独占奉仕 中小切り捨て

### 総合経済対策

大蔵省は、九月二〇日、二度にわたる公定歩合の引き下げをよそに、日本経済は再び不況下ロ沼化の様を呈してきた。加えて、唯一の「期待」である輸出も、対日批判をひき起し、先行不安になっている。経団連、関係各団体の産業界は、早くから福田に大型補正を要求してきた。また一方では、戸に拡大され規模八千九百九十億となった。学校、病院、など生活関係事業には、「言い訳」程度の予算しか配分されておらず、今日の「生産過剰」を中小企業の倒産と合理化、大量首



大蔵省は、九月二〇日、二度にわたる公定歩合の引き下げをよそに、日本経済は再び不況下ロ沼化の様を呈してきた。加えて、唯一の「期待」である輸出も、対日批判をひき起し、先行不安になっている。経団連、関係各団体の産業界は、早くから福田に大型補正を要求してきた。また一方では、戸に拡大され規模八千九百九十億となった。学校、病院、など生活関係事業には、「言い訳」程度の予算しか配分されておらず、今日の「生産過剰」を中小企業の倒産と合理化、大量首

大蔵省は、九月二〇日、二度にわたる公定歩合の引き下げをよそに、日本経済は再び不況下ロ沼化の様を呈してきた。加えて、唯一の「期待」である輸出も、対日批判をひき起し、先行不安になっている。経団連、関係各団体の産業界は、早くから福田に大型補正を要求してきた。また一方では、戸に拡大され規模八千九百九十億となった。学校、病院、など生活関係事業には、「言い訳」程度の予算しか配分されておらず、今日の「生産過剰」を中小企業の倒産と合理化、大量首

## 一億総不

九月二十六日から開かれた社会党大会は、田、橋、泰三氏の離党声明によって再び暗礁にのりあげ、十二月まで延期された。協会派と反協会派の抗争、協会派によれば「社会党に寄生し社会党に死んだ教条をおしつける共産主義者の党乗っ取り」ということになり、両者ともそれを社会党の停滞の原因と決めつけあっている。しかし事態の経過を見れば、この抗争の中には、政権構想と統一戦線の問題、国際的な中ソの評価、日本の社会主義をめぐる論争などが含まれている。この稿ではとりあえず、政権構想と統一戦線について言及する。

構想に踏み切ることを要求するゆきぶりをかけた。また、同様に共産党は、選挙敗北の重要な原因として「統一戦線に現実性がない」ということをあげ、とくに社会党が社共統一戦線に曖昧な態度をとったことに責任をなすりつけ、社共民派の清算を暗

切で乗り切らんとする独占の要請も強まっている。総合経済対策は「経済対策」の中心である公共事業は、治山、治水、道路、新幹線、公庫も、貸し付けワケ十万戸に拡大され規模八千九百九十億となった。学校、病院、など生活関係事業には、「言い訳」程度の予算しか配分されておらず、今日の「生産過剰」を中小企業の倒産と合理化、大量首

政府税制調査会が四日、一般消費税率を中長期税制答申で、同答申は、その今日の赤字財政の増え、税の自然増が、ないことから「税き上げ」を強調は、既存の個別課税は、直しを行ない、所物価調整減税は必

「反独占の共同戦線」であり、内部にはマルクス主義者から人道的社会主義者まで含まれている。ゆえに独占資本の横暴と搾取に苦しみられるあらゆる層の、それぞれの願いと意思が直接この党に反映するのである。

民衆の政策とその腐敗、奇生体質があげられてゆき中、自民党の単独政権崩壊に近いことは、昨年の総選挙での自民党の地すべりの後退によって示された。先の参議院選ひとなび現実から遠のき、挙ではこの「受け皿」を抽象的なものにならばなめ、共「全野党」「社公」共「全野党」「社公」共「全野党」等々、華々しい政権バズ

の社会党敗北であった。九月一日、大蔵省は来年度の予算編成の基本姿勢を示し、大幅な福祉切り捨てを含むデフレ緊縮政策を発表し、次いで一般消費税率の導入を示唆した。この福田・大蔵省のファッショ化をとまらせず、今日の社会党の事態の真に責任を負うべきは、日本共産党である。

宮本指導部は、国会選挙における統一を一切拒否し、自民党の政治独占に手を貸す一方で、口先で執拗に社共統一戦線の結成を呼びかけている。その実体のない統一の呼びかけは、社会民主主義者との共闘を真面目に性を欠く結果を招いて追求しようとする立場からほど遠く、それは自らのセクト主義を陰蔽するための党利党略であらざるにすぎない。また日本人を窮地に追い込む結果とならざるべ

## 投稿

# 社会党内紛と統一戦線の課題

「社会主義」という共通の目標は掲げられても、各層の利害や理念にもとずいて様々な色合いの「社会主義」が混在しているのがこの党の特色だ。だから、話しがひとなび現実から遠のき、挙ではこの「受け皿」を抽象的なものにならばなめ、共「全野党」「社公」共「全野党」等々、華々しい政権バズ

ル論争が展開された。選挙結果は、自民党の予想外のねばり腰による野党逆転すら実現しなかつた。選挙後、田社会委員長は引責辞任を表明し、公明党大野書記長、民社党春日委員長は社会党に対して、共産党と手を切り、社共を中心とする次期政権

に要求した。こうした政権構想は、社会党の路線をめぐる野党間の論議の集中的な現われが今日の「社会党問題」である。生活防衛の大家、共産党と手を切り、社共を中心とする次期政権

統一戦線の課題は、社会党内の統一を一切拒否し、自民党の政治独占に手を貸す一方で、口先で執拗に社共統一戦線の結成を呼びかけている。その実体のない統一の呼びかけは、社会民主主義者との共闘を真面目に性を欠く結果を招いて追求しようとする立場からほど遠く、それは自らのセクト主義を陰蔽するための党利党略であらざるにすぎない。また日本人を窮地に追い込む結果とならざるべ



社会党第41回定期全国大会



